

予算編成の基本的な考え方

平成26年度当初予算は、経常的経費や継続事業を中心とした、「骨格予算」として編成しました。

このため、この度の6月補正予算は、いわゆる「肉付け予算」として、新規事業や政策的な判断を要する経費等を追加で予算措置しています。

1 新たなプランの方向性に沿った県づくりの推進

新たな県政運営の指針として現在策定中の「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」の方向性に沿って、必要性が高く、直ちに取り組むべき施策を前倒しして実施します。

- ▼ 次世代産業の育成・集積、産業人材の育成
- ▼ 6次産業化や農商工連携等による農林水産業の育成
- ▼ 大河ドラマの活用等による観光の振興
- ▼ 中山間地域の自立に向けた取組の支援
- ▼ 子育て支援、女性の活躍促進

2 公共事業関係費の追加確保

公共事業関係費を追加で確保し、産業基盤整備、防災・減災対策等を重点的に実施します。

3 緊急的・政策的な課題への対応

その他の緊急的・政策的な課題として早期の対応が必要となった事業について、速やかに実施します。

※ 「やまぐち産業戦略推進計画」関連事業の一層の充実と、スピード感を持った実行についても重視した予算編成としています。